

診断・検定のご紹介

素養×スキル可視化に向けて

2025.V1

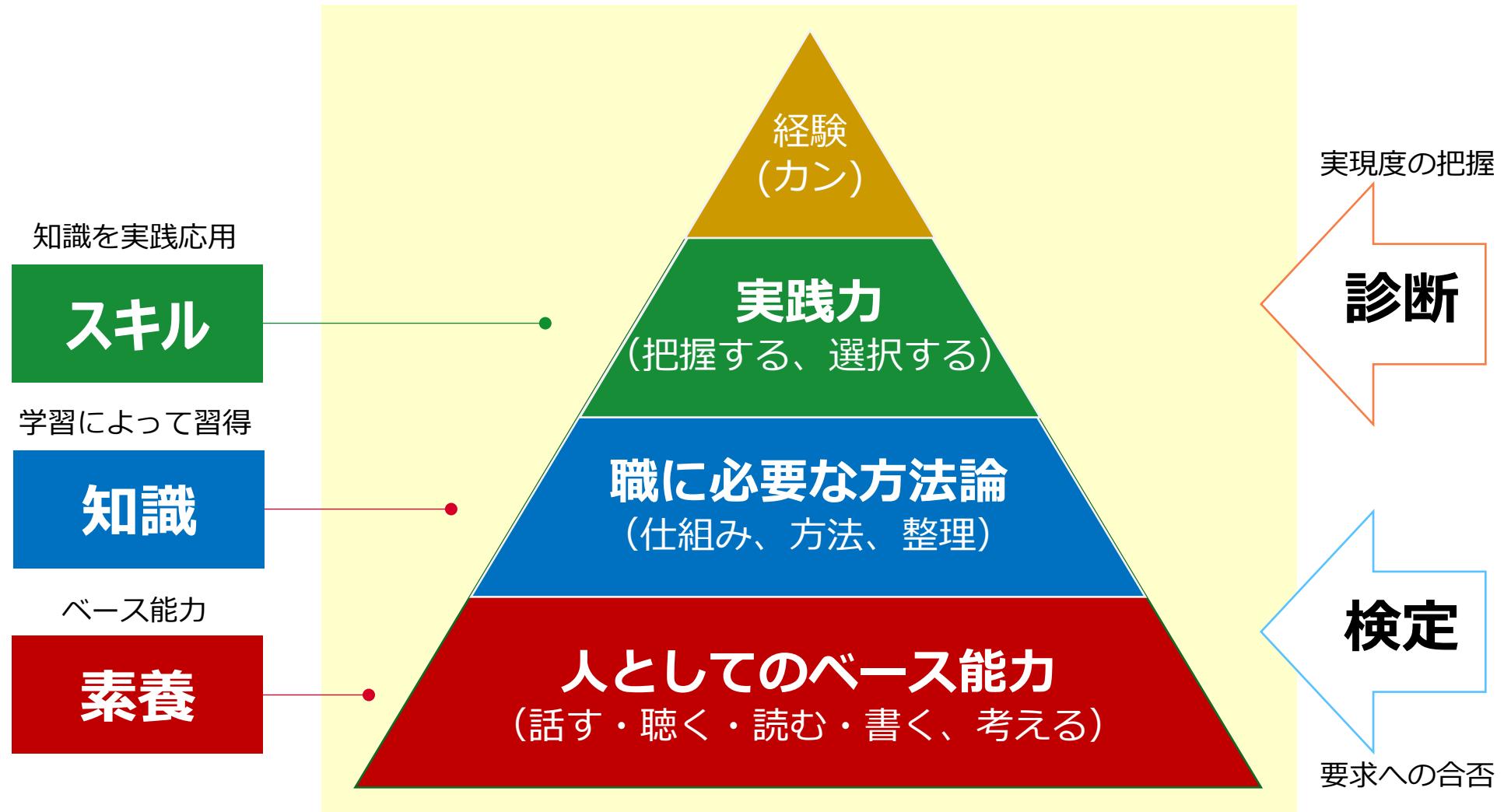
株式会社 SHIFT ソリューション本部 デリバリ改革統括部
能力開発部 ヒンシツ大学グループ

ヒンシツ大学

その常識、変えてみせる。 **SHIFT**

Copyright SHIFT INC, All Rights Reserved.

素養・知識・スキルと、実務実行力の関係



① 効果的な教育

スキルをみて、部署別、レイヤ別教育計画立案

② 人材抜擢

素養をもった人材を発掘抜擢し、やらせてみる

③ 新技術転換

素養をみて、新技術領域へ配置転換を実施

④ 炎上防止

営業力、PM力を測定し、炎上人材を事前検知

⑤ 採用力強化

素養を入社前に測定し、入社後ギャップ防止

検定・診断

診断や検定を受けることで、**受験者の能力を可視化**することができます。何のスキルが不足しているのか、組織として何を強化すればいいかなど研修計画が立てやすくなるため、**経営戦略に即した人財育成が可能**になります。

カテゴリ	No	検定／診断	種別	解答方式	時間(分)	合格率	主な指標
ソフトウェアテスト	1	品質基礎スキル診断 (日本語版/英語版)	スキル	選択式	60	—	品質基礎、テスト設計、インスペクション、不具合分析、テスト計画、非機能テスト ※平均点：40／100
プロジェクトマネジメント	2	PM検定－知識編	知識	選択式	40	45	PMBOKのフレームに沿って、システム開発を推進するPMに必要な知識を問う。
	3	PM検定－実践スキル ・進捗管理編	スキル	選択式	40	45	プロジェクトの進捗状況に応じた基本的な対応力を問う。 (バグの収束状況も意識しなければならないテスト工程を題材としている)
	4	PM検定－実践スキル ・問題対応編	スキル	選択式	50	30	プロジェクト状況に応じた対応力、問題解決力、ステークホルダーとの調整力を問う。 (影響が比較的大きい下流工程で発生したトラブルを題材としている)
	5	PM検定－素養編	素養	一部選択式	60	20	個人のコミュニケーションの4つの能力（関係構築力、相手理解力、表現伝達力、情報プロセス力）を確認。
	6	ITインフラ基礎スキル診断	スキル	一部選択式	50	—	ITインフラ関連業務のさまざまな立場による考え方のGAPを把握し、適切な育成プランへの接続を目的としたITインフラ業務における診断です。
各種ビジネススキル	7	生成AI活用度診断 ※2025年9月リリース予定	スキル	選択式	30	—	生成AIの活用スキルの可視化を図ります。 4つにカテゴリ（基礎知識・性質理解・プロンプト作成力・結果検証力）におけるスキルレベルと強み・弱みを把握します。
発注者のためのビジネススキル	8	IT企画診断－ ビジネス&IT化構想編 ※2025年10月リリース予定	スキル	選択式	60	—	業務効率化のため、業務に精通した「業務スペシャリスト」が組織を巻き込み、現場業務をまとめ、プロジェクト・IT化を推進させるため、6つのカテゴリにおけるスキルレベルを確認します。 ①組織を動かす ②ITを活用した事業戦略の企画力 ③情報システム戦略と全体システム化計画の立案力 ④個別システム化構想力 ⑤情報システム戦略の実行管理力 ⑥リスク分析力
	9	IT案件推進診断－ 要求・要件定義・受入テスト編 ※2025年10月リリース予定	スキル	選択式	60	—	ユーザーからのシステム要求を整理し要件定義を行う。 定義した要件に基づいてシステムが開発され・テストが行われる。 発注者は要件通り及びサービスを実現できるシステムか否か受入テストを通じて評価するスキルが必要です。それらを6つのカテゴリからスキルレベル診断します。 ①RFPに関する知識 ②システム化計画の立案力 ③要件の識別力 ④開発に関する要件の作成力 ⑤運用・保守に関する要件の作成力 ⑥システム評価力

品質基礎スキル診断のご紹介

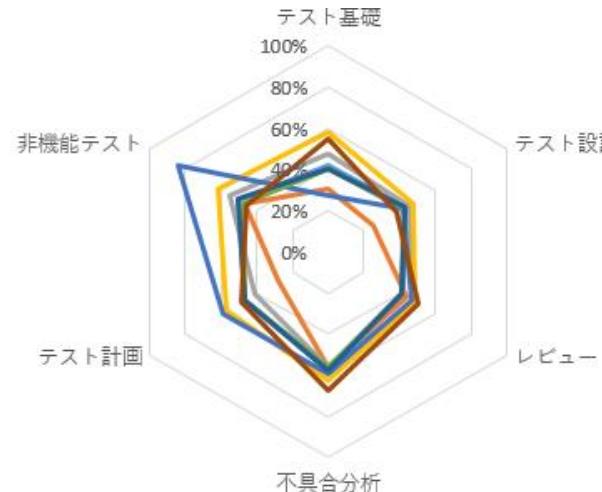
品質基礎スキル診断 ~概略~

【テスト概要】品質基礎スキルを、
次の6つのカテゴリに分けてそれぞれを選択テストで測定

- 1.品質スキル
- 2.テスト設計スキル
- 3.レビュースキル
- 4.不具合分析スキル
- 5.テスト計画スキル
- 6.非機能テストスキル

【組織・階層などの切り口で分析】

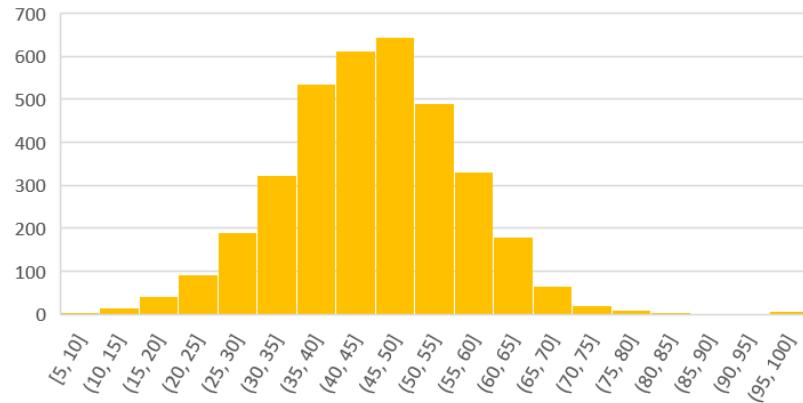
組織・階層などに対応して、各知識スキルカテゴリの平均得点を比較。分類別の特性を見て、教育方針を検討することができます。



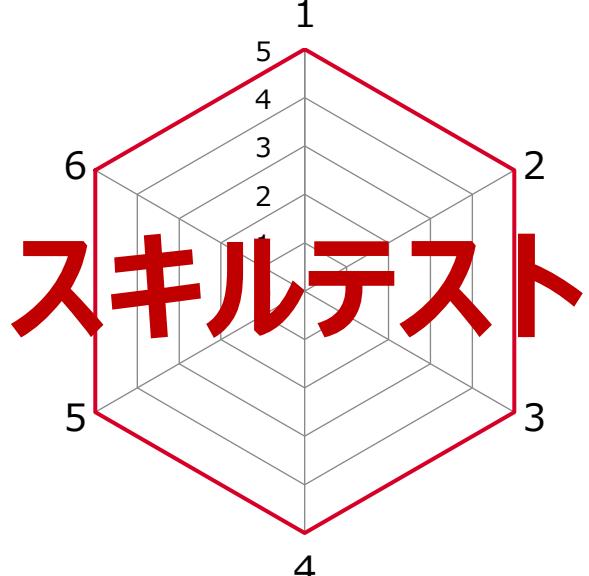
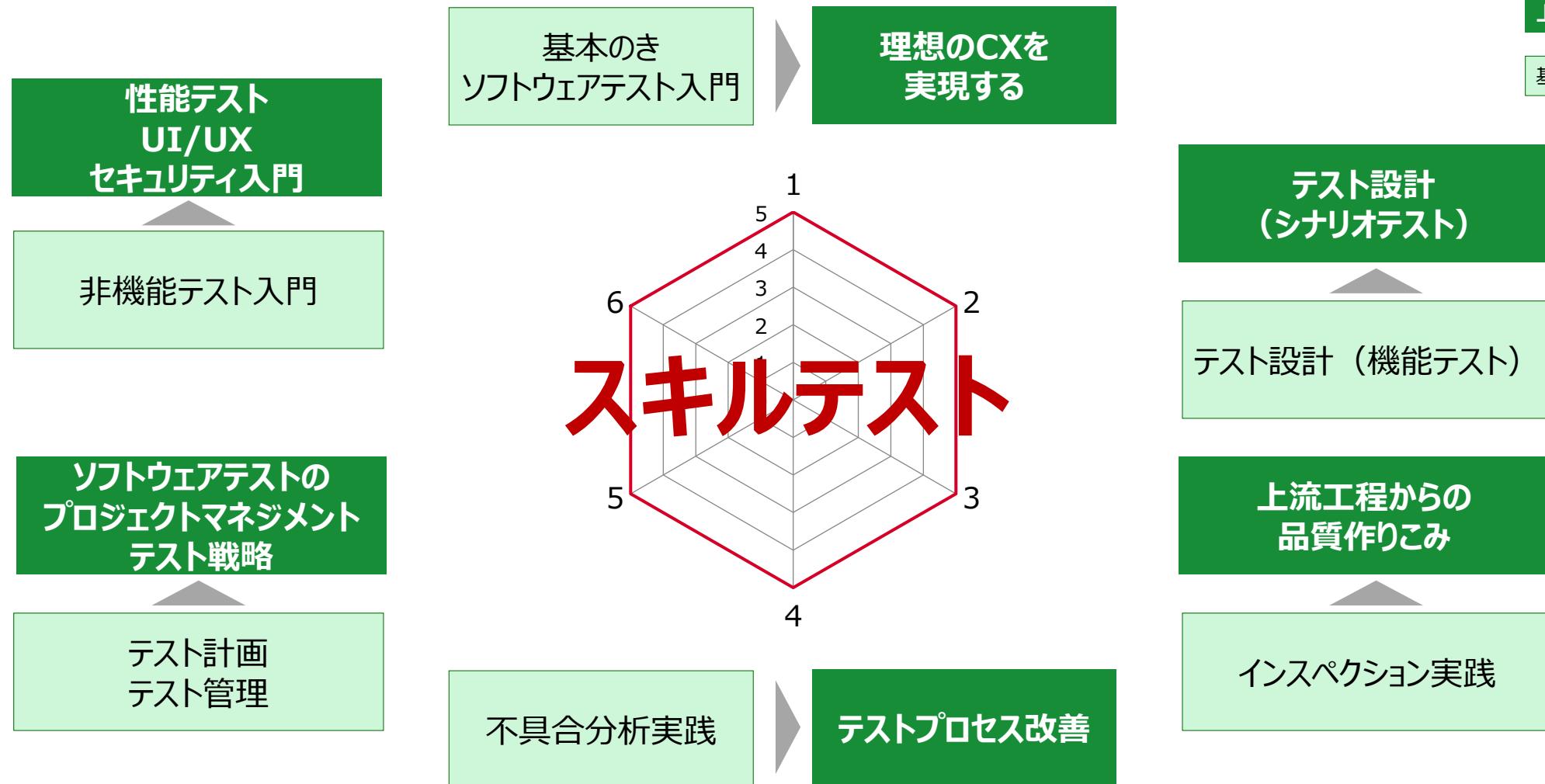
合計	テスト基礎	テスト設計	レビュー	不具合分析	テスト計画	非機能テスト
46.8%	41.8%	42.8%	42.3%	57.9%	46.6%	50.6%
38.0%	30.6%	25.0%	43.8%	56.3%	28.1%	46.9%
48.9%	47.9%	44.4%	48.8%	56.3%	41.4%	55.1%
55.5%	57.8%	47.2%	48.1%	62.5%	56.9%	61.3%
52.5%	27.8%	41.7%	46.9%	59.4%	59.4%	84.4%
45.5%	40.4%	42.6%	41.0%	56.3%	46.8%	47.3%
46.4%	40.2%	42.9%	41.2%	57.7%	46.5%	50.8%
50.6%	54.8%	38.5%	50.0%	67.0%	48.7%	45.5%

【得点分布で分析】

個人別の平均点分布を見ると、高得点者がいる一方で35～50点の範囲に集中していて、この層の底上げや、上位層のさらなるスキルアップを検討する材料となります。

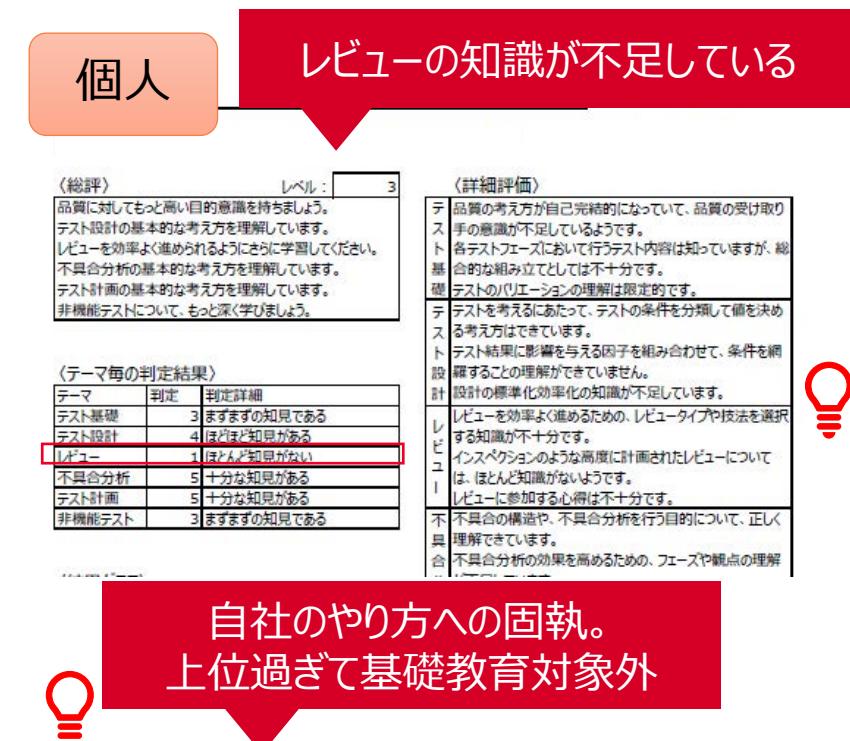
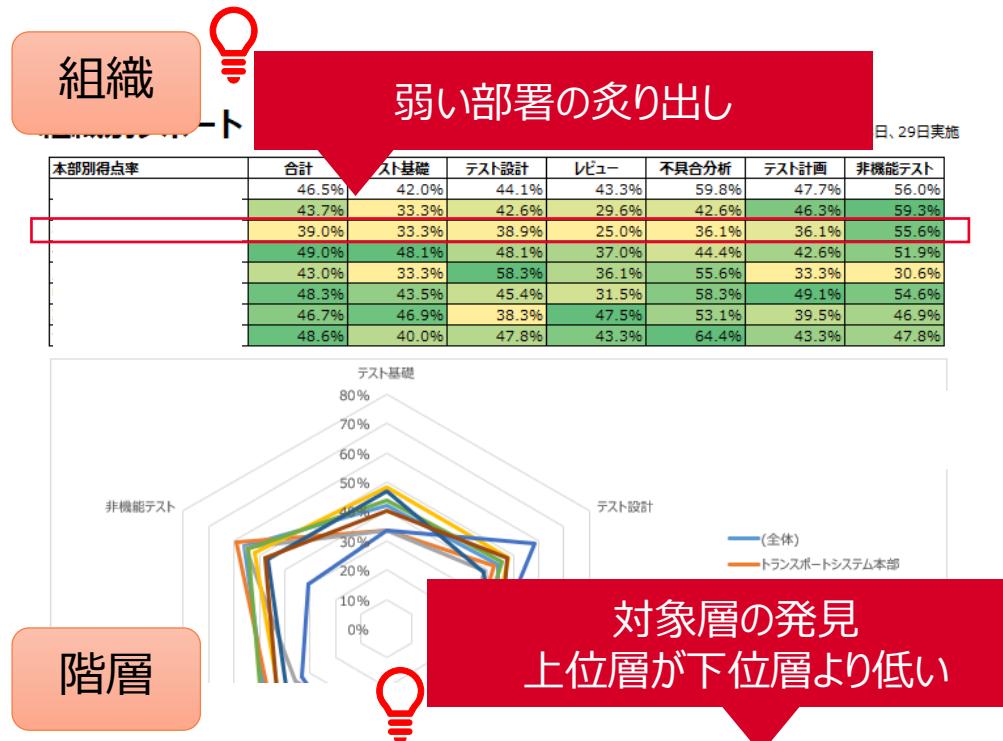


品質基礎スキル診断 カテゴリ強化戦略



品質基礎スキル診断 レポートサンプル

各種レポートから気づきを得ることが可能



階層

階層別得点率	合計	テスト基礎	テスト設計	レビュー	不具合分析	テスト計画	非機能テスト
(全体)	42.8%	34.7%	43.7%	38.6%	58.0%	43.2%	39.6%
階層4	44.6%	34.4%	45.8%	43.6%	57.9%	45.4%	41.5%
階層3	46.3%	40.5%	45.0%	42.8%	60.0%	43.4%	47.0%
階層2	44.7%	37.2%	43.7%	38.1%	63.2%	48.5%	38.7%
階層1	37.4%	29.2%	41.0%	31.6%	52.8%	36.9%	33.5%

品質基礎スキル診断 問題一部 ※受験対象者に極秘

テスト基礎

No.	点	問題	選択肢
1	1	システムの品質が高いと判断する基準として、最も望ましいものを選べ。	①欠陥（バグ）が少ない ②性能が高い ③利用者にとっての価値が高い ④コストが安い
2	3	ソフトウェアのテストを行う目的として、正しいものを全て選べ。	①予定された機能が全て提供されていることを確認する ②テスト対象の欠陥を全て見つけ出す ③テスト対象が利用された時に発生しうるリスク

テスト設計

No.	点	問題	選択肢
1	1	結合テスト工程では、画面仕様書などの基本（外部）設計書に対応して、機能テストを行う。このうち画面間連のテストに関する記述として、正しいものを選べ。	①コンポーネントテストが完了しているので、画面遷移だけ確認すればよい。 ②画面のレイアウトが崩れても、機能が正しく動作していれば、バグレポートは作成しない。 ③画面の項目を分析し、体系的に欠陥を見つけ出しが求められる。 ④Webシステムであれば、いろいろな種類のブラウザを使用して、問題がないことを確認する。
2	1	テスト設計を行うためには、前提条件をテスト計画書から取得する必要がある。テスト計画書から取得するものとして、誤っているものを選べ。	①テストの対象となる機能・対象外の機能 ②テストタイプ（テスト方法）に関する指針 ③テスト密度の指針 ④合否判定基準

レビュー

No.	点	問題	選択肢
1	1	レビューの典型的なタイプに関する記述として、誤っているものを選べ。	①非形式的レビューは、プロセスに則らず日常的に随時実施されるレビューで、コストをかけずにレビューの効果を得ることを目的とする。 ②ウォークスルーは、成果物としてのレビュー報告書を作成するために、グループで成果物をチェックし欠陥を探す。 ③テクニカルレビューは、技術のエキスパートが参加し、技術的な課題について議論・決定・欠陥発見などをを行う。 ④インスペクションは、経験のあるモーティーラーが進行し、それぞれの役割を持つ参加者が、ルールに則ったプロセスでレビューを行う。
2	1	インスペクションに関する記述として、誤っているものを選べ。	①準備からミーティングの招集、ミーティングの進行までをモーティーラーが統括し、レビュー結果の反映は開発担当者に委ねられる。 ②レビューに対する成果物とレビュー観点を事前に配布し、それぞれの観点に従ってレビューを徹底した状態でミーティングに臨ぶ。 ③必ずレビュー記録の議事録を作成する。 ④対象成果物およびインスペクション活動の品質メトリックスを採取して、プロジェクトサイクリルに跨る改善状況を評価する。

不具合分析

No.	点	問題	選択肢
1	1	欠陥（フォルト、バグ）に関する記述として、誤っているものを選べ。	①人間が開発中に起こしたエラーが、作業成果物に残存したものが、欠陥となる。 ②システムの実行中ににおいて、欠陥と遭遇して、利用者が不都合と判断したものが故障（障害）である。 ③システムの中に欠陥があっても、故障として表出しない場合もある。 ④どんな欠陥も、動的テストを行うことで検出することができる。
2	1	不具合分析に関する記述として、誤っているものを選べ。	①開発中のエラーが線の探し発生して、別の箇所に類似の欠陥を作つてないかを確認する。 ②ソースコードの欠陥の元となったドキュメントの欠陥が、他のソースコードの欠陥を招いてないかを確認する。 ③欠陥をたくさん作ったのは誰かを特定し、その人の作ったところを見直す。 ④欠陥がテストで見つかなかった理由を確認し、テストの方法を見直す。

テスト計画

No.	点	問題	選択肢
1	1	テスト計画書に関する記述として、誤っているものを選べ。	①テストのスケジュールと、人員計画を明示する。 ②どのようなタイプのテストを実施するかを明示する。 ③テストチームの責任範囲をステークホルダーと合意するために利用する。 ④テストケースを全部実行したら終了なので、終了基準は書かなくてもよい。
2	1	テスト計画書に記述するテスト方針に関する記述として、誤っているものを選べ。	①プロジェクトの種類や状況によって、求められるQCD（品質・コスト・納期）バランスは異なる。 ②QCDバランスは、ステークホルダーが決めるものなので、テスト計画書に要求されるQCDの理由を記述する必要はない。 ③QCDバランスを実現するために、どのように、どのくらいテストを行うかを計画する。 ④コストや納期の制約が強ければ、目標とする品質を落としてもよい。

非機能テスト

No.	点	問題	選択肢
1	1	スマートフォンに関する記述として、非機能として扱うのはふさわしくないものを選べ。	①通話音質が聞き取りやすい。 ②電波の感度がよい。 ③GPSで自分の位置がわかる。 ④電池の持ちがよい。
2	1	ISO25010の品質特性に関する記述として、誤っているものを選べ。	①ISO25010では、システムの品質が利用時品質と製品品質とでモデル化され、補完モデルとしてISO25012のデータ品質が示されている。 ②製品の品質特性として、機能適合性、性能効率性、互換性、使用性、信頼性、セキュリティ、保守性、互換性の6つが提示されている。 ③機能適合性以外の7つの特性は、非機能を表す特性として考えることができる。 ④製品品質モデルは、製品として提供されるソフトウェア、ハードウェアを対象しており、サービスとして提供されるクラウドやネットワークの利用は対象外である。

プロジェクトマネジメント検定のご紹介

プロジェクトマネジメント（PM）検定の体系

PM検定とは、プロジェクトマネジメントに必要な知識やスキル、対応力や素養などを測る検定です。苦手なスキル、強化したいスキルをカテゴリーごとに選択することができ、効果的な講座の受講が可能となります。

01

PM検定 知識編

PMBOKのフレームに沿って、ソフトウェアテストを推進するPMに必要な知識を問う



02

PM検定 実践スキル・進捗管理編

ソフトウェアテストの進捗状況に応じた基本的な対応力を問う



03

PM検定 実践スキル・問題対応編

ソフトウェアテストのプロジェクト状況に応じた対応力、問題解決力、ステークホルダーとの調整力を問う



04

PM検定 素養編

個人のコミュニケーションの4つの能力（関係構築力、相手理解力、表現伝達力、情報プロセス力）を確認する



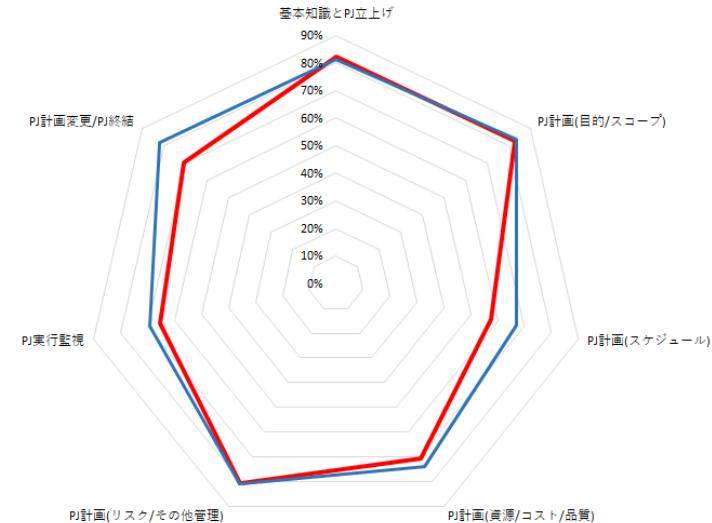
※ PMBOK (Project Management Body Of Knowledge) :

PMBOKは、PMI (Project Management Institute) が作成した、プロジェクトマネジメントに関するノウハウ・手法の体系。PMI本部が認定するプロジェクトマネジメントに関する国際資格として、PMP (Project Management Professional) がある。

PM検定「知識編」では、PMスキルを7つのカテゴリに分けて、各々選択テストで測定。アウトプットにより、受講者全体の傾向／個人別について、カテゴリ別に強みや弱みを把握します。

PMスキルを7つのカテゴリに分けて、各々選択テストで測定

1. 基本知識と立上げ時のポイント
2. 計画策定（目的とスコープ）
3. 計画策定（スケジュール）
4. 計画策定（資源／コスト／品質）
5. 計画策定（リスク／その他管理手順）
6. 実行監視
7. 計画変更／終結時のポイント



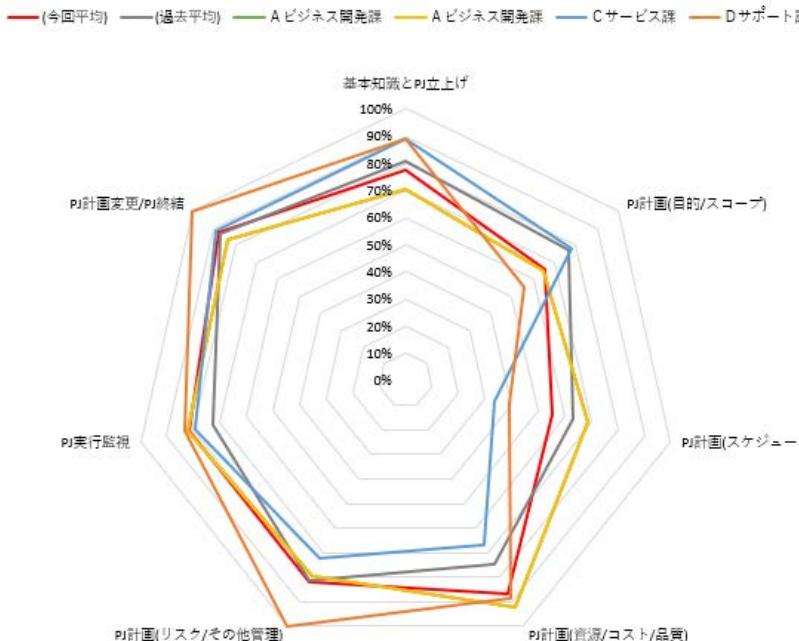
PM検定では、受検者全体の結果を可視化すると共に、個人別レポートによって受検者ご自身によるスキルレベル振り返りにも活用可能です。

PM検定－知識編～レポートサンプル～

属性別分析レポート (組織／階層etc.)

所属やランク別の傾向を分析し、
強み・弱みをあぶりだす

所属別得点率	人數	合計	基本知識とPJ立上げ	PJ計画(目的/スコープ)	PJ計画(スケジュール)	PJ計画(資源/コスト/品質)	PJ計画(リスク/その他管)	PJ実行監視	PJ計画変更/PJ終結
(今回平均)	10	77.0%	77.8%	65.6%	55.6%	86.7%	82.2%	81.7%	87.8%
(過去平均)	1198	76.5%	80.8%	76.8%	63.0%	74.9%	81.3%	72.8%	87.0%
Aビジネス開発課	6	77.5%	70.4%	64.8%	68.5%	92.6%	79.6%	81.9%	83.3%
Aビジネス開発課	6	77.5%	70.4%	64.8%	68.5%	92.6%	79.6%	81.9%	83.3%
Cサービス課	2	72.7%	88.9%	77.8%	33.3%	66.7%	72.2%	79.2%	88.9%
Dサポート課	2	79.5%	88.9%	55.6%	38.9%	88.9%	100.0%	83.3%	100.0%



個人別レポート

個人別に強み・弱みを提示

〈総評〉

得点 : 46/66

プロジェクト開始にあたり押さえておくべきポイントについて学び直しましょう。
プロジェクト計画書を作成する際のポイントについて学び直しましょう。
プロジェクトを推進し終結させるための基礎知識について学び直しましょう。

〈テーマ毎の判定結果〉

テーマ	得点	評価
基本知識と立上げ	5/9	もう少し知識の充足が必要
目的/スコープ	2/9	全体的な知識の充足が必要
スケジュール	7/9	最低限の知見はある
資源/コスト/品質	9/9	十分な知見がある
リスク/その他管理	6/9	もう少し知識の充足が必要
実行監視	9/12	最低限の知見はある
計画変更/終結	8/9	必要な知見はある

〈結果グラフ〉



〈詳細評価〉

基本知識とPJ立上げ	プロジェクトの基礎知識をもう少し理解しましょう。 プロジェクト立上げにあたってのポイントをもう少し理解しましょう。
PJ計画(目的/スコープ)	目的と体制をプランする趣旨をもう少し理解しましょう。 スコープ定義の趣旨や手法をしっかりと学びましょう。
PJ計画(スケジュール)	スケジュール設定に関する基礎知識と手法をもう少し理解しましょう。
PJ計画(資源/コスト/品質)	資源計画策定時の基礎知識を理解しています。 コスト計画策定時の留意事項を理解しています。 品質計画策定時の考慮点を理解しています。
PJ計画(リスク/その他管理)	リスクの計画/管理手法をしっかりと学びましょう。 各種管理/運営手順の基礎知識を理解しています。
PJ実行監視	プロジェクト実行監視時の基礎知識もう少し理解しましょう。 進捗管理手法を理解しています。
PJ計画変更/PJ終結	変更要求発生時の留意点を理解しています。 終結にあたってのポイントをもう少し理解しましょう。

PM検定－知識編 PM関連講座受講のお薦め

総合的に知識が不足している方、特定のエリアの知識が十分ではない方に対して、研修講座をお薦めしています。

受検者	正答率 (%)								PM関連講座 受講のお薦め
	総合	知識診断の内訳（ポイント数）							
氏名 (敬称略)		基本知識とPJ立案 上げ [* / 9]	PJ計画(目的/スコープ) [* / 9]	PJ計画(スケジュール) [* / 9]	PJ計画(資源/コスト/品質) [* / 9]	PJ計画(リスク/その他管理) [* / 9]	PJ実行監視 [* / 12]	PJ計画変更/PJ終結 [* / 9]	
受検者A	97	9	8	9	8	9	12	9	—
	97	9	9	9	7	9	12	9	—
	92	9	9	4	9	9	12	9	○
	88	9	8	6	7	9	10	9	△
	82	9	9	6	6	7	10	7	△
	77	8	7	2	7	9	9	9	○
	70	6	6	1	9	9	8	7	○
	64	8	3	1	7	7	7	9	◎
	58	8	6	3	4	7	5	5	◎
	53	1	0	5	9	5	9	6	◎
	32	6	6	1	4	4	0	0	◎

基本知識と立上げ時のポイント

No.	点	問題	選択肢
2	1	プロジェクトとは、独自性があり且つ有期性を持つ業務がプロジェクトです。 では、これに該当しない業務を1つ選んでください。	① 国立競技場の建設 ② 社内運動会の開催 ③ 小惑星探査機の打ち上げ ④ コンビニのレジ業務
5	2	顧客の発注手続きが遅れているとの理由で、発注書の到着がプロジェクトの開始に間に合わない可能性があることがわかりました。 PMが取るべき行動として適切なものを全て選んでください	① 顧客の手続きが遅れているだけなので、要員を遊ばせることは得策ではなく、予定どおり開始することとした。 ② 速やかに上長にエスカレーションし、プロジェクトの開始が遅れるリスクが高いことを報告した。

計画策定スキル（目的とスコープ）

No.	点	問題	選択肢
10	1	次に、スコープについて整理します。 アクションとして適切ではないものを1つ選んでください。	① プロジェクトが対象とする業務の範囲やシステム化対象とする機能の範囲を明確にした。 ② プロジェクトにおいて作成する成果物や実施する作業を規定した。 ③ プロジェクトに含まれない成果物や作業を規定することで、スコープをより明確にした。 ④ スコープには柔軟性を持たせることが重要なので、「XX業務全般」という表現にとめた。
11	2	以下は、WBSに関する記述です。間違っているものを1つ選んでください。	① WBSとは、スコープとして定義した成果物を作成する作業まで分解したものである。 ② WBSとは、成果物を誰がいつまでにどれだけの工数をかけて実施するの

計画策定スキル（スケジュール）

No.	点	問題	選択肢
14	1	まず、STEP1として、スケジュールを作成するまでの前提条件を整理します。 このときのアクションとして適切ではないものを1つ選んでください。	① 必達となるマイルストンを把握する。 ② WBSで定義した作業の依存関係を把握する。 ③ 作業環境の制約（開発環境、使用ユーザー数の制限等）を把握する。 ④ （システム開発を受託したケースでは）契約終了日を最重要マイルストンとして位置づける。
15	2	スケジュール作成のSTEP2です。 WBSで分解した最下位レベルの作業について、作業工数と所要期間を見積ります。	① 類推型：過去の類似したプロジェクトから類推 ② 係数モデル（パラメトリック）型：対象の画面や機能を規模別等に分類し、パラメータを入れて算出する手法

計画策定スキル（資源／コスト／品質）

No.	点	問題	選択肢
20	2	まずは、人的資源です。 顧客から受託した案件のプロジェクト要員をアサインする際に考慮する点を挙げています。適切な対応を全て選んでください。	① Quality（作業品質）とCost（調達単価）のバランスを考慮した。 ② 作業場所について、自社サイトなのか顧客サイトなのか、その場所はどこかを考慮した。 ③ 準委任契約の場合は、再委託する際の法的な制限はないので、実績のある協力会社の選定を急ぐことにした。 ④ 遊休要員や育成対象要員があるので、案件にマッチすることを確認した上で優先的にアサインするように配慮した。
21	1	もう一つの資源、物的資源に関する計画です。	① デザイン、開発、テストに必要なハードウェアとソフトウェアを洗い出し計画

計画策定スキル（リスクとその他管理手順）

No.	点	問題	選択肢
27	2	プロジェクトに潜むリスクを特定しようと、以下のような対応を実施しました。 適切なものを全て選んでください。	① 要求内容やスコープの面（要求や期待、対象範囲や対象作業が明確で文書化されているか等）からリスクを洗い出した。 ② リスクはプロジェクトを進めていくと、消えたり、新たに発生したりするので、プロジェクトの計画段階ではリスク管理手順の策定にとどめた。 ③ 過去の類似プロジェクト（同じ業種のシステム／同じ技術を使用したシステム）での教訓や学びからリスクを洗い出した。 ④ 過去の類似プロジェクト（同じ業種のシステム／同じ技術を使用したシステム）での教訓や学びからリスクを洗い出した。
28	1	リスクを洗い出したところ、十数個に及ぶ様々なリスクが特定されました。 これらのリスクに対するアクションとして、適切な方を選んでください。	① どんなリスクでも顕在化したらプロジェクトに何らかの影響を及ぼすので、全てのリスクに対して同じような労力をかけて対策しモニタリングしていくこととした。 ② 特守りたりカクアキアリテネオオヌシホヤレタキハシル御守り分野

実行監視スキル

No.	点	問題	選択肢
32	1	まずは、プロジェクトチーム・メンバーを招集し、キックオフ・ミーティングを開催することにしました。 このキックオフ・ミーティングの目的として適切ではないものを1つ選んでください。	① 本プロジェクトの目的、ベースライン（スコープ、スケジュール、コスト（チーム体制／稼働予定））を共有すること。 ② 会議体、課題管理手順、変更管理手順といったプロジェクト運営ルール／手順を周知し徹底すること。 ③ メンバーがプロジェクト開始当初に持つ不安を払拭すること。 ④ メンバーの顔見せが目的であり、これが終わればメンバーには速やかに各自の作業に取り掛かってもらう。
33	1	システム開発プロジェクトを推進しています。 PMはプロジェクトの進捗状況を確認していますが、その目的として適切ではないものを1つ選んでください。	① スケジュールどおりに行われているかどうかが重要であり、これに注力して確認していく。 ② 将来、ベースラインとの差異につながるリスクを認識し共有すること。 ③ プロジェクトのベースラインとの差異を認識し、発生原因を確認すること。

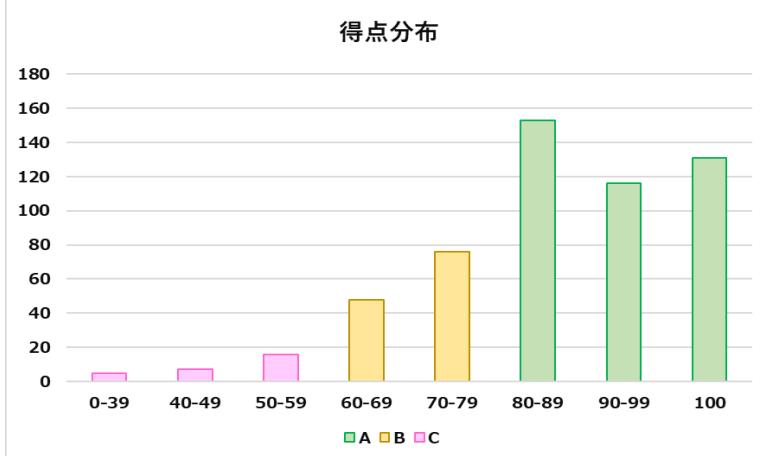
計画変更／終結時のポイント

No.	点	問題	選択肢
40	1	プロジェクトを推進していると、プロジェクトのベースライン（スコープ、スケジュール、コスト）に影響するような要求を受ける場合があります。顧客に依存するリスクが実際に顕在化した際に、当社に対し求められる対応要請などをその例です。 このような時の対応として、適切ではないものを1つ選んでください。	① 顧客から口頭にてテスト対象範囲の追加を打診されたので、文書（メール）で変更要求を出していただくようお願いした。 ② 顧客からメールにて変更要求が届いたので、この内容を課題管理表に登録した上で、この変更要求に対する対応を管理していくこととした。 ③ 顧客からの要求について、対応方針案を立案した上で上長に方針案採否の判断を仰いだ。 ④ プロジェクトのベースラインについて顧客から変更要求があった場合にはスピードが重要となるので、担当者間で目づっこベースで進めいくことだ。
41	2	前述した統合テストの大幅な遅延は、顧客から提供された共通モジュールの不良が原因であることが特定されました。責任部門（顧客）の部長より「問題箇所の改修と当該モジュールの単体テストはここ1週間で終了するので、以降の3週間でキャッチアップしたい。至急、増員も含めた提案が欲しい。」と要請があり、急ぎキャッチアッププランを	① 上長と連携しながら、現実的であり且つ効果的な提案をスピーディーに練るにした。 ② 短期間でのキャッチアップなので、プロジェクト・リスクの発生確率は低いと判断し、これを前提とした提案をすることにした。 ③ ここは顧客に「貸し」を作つて、後の契約を有利に進めた方が得策と考え、自身の判断で追加契約提案はせずにメンバーの残業で対応することとした。

PM検定「実践スキル・進捗管理編」では、アウトプットにより、進捗状況に応じた基本的な対応力が可視化されます。

結果レポートサンプル

個人別の平均点分布です。高得点者が多数いる一方で60点以下の得点者も散見され、ばらつきがあることが分かります。



【結果返却レポート】
受験者個人のスキルを可視化します。

PM検定-実践スキル・進捗管理編 結果

氏名 : _____
所属 : _____

<PM検定-実践スキル・進捗管理編について>
本検定は元々案件における最低限のPM能力を有しているかを問う~~簡易的~~検定です。
結果は、PMの指標(計画立案力、プロジェクト完遂力、問題の察知・解決力、チームマネジメント力)ごとに3段階(A,B,C)で表現しています。
※間違えた問題は裏面の解説を読んで、今後のスキルアップの参考にしてください。

総合(採点結果) 70/100

PMの指標ごとの評価

計画立案力	B
プロジェクト完遂力	B
問題の察知・解決力	1
チームマネジメント力	B

■系列1 ■今回平均



解答結果(正誤)

問題1	○	問題6	○	問題11	×
問題2	○	問題7	○	問題12	○
問題3	○	問題8	○	問題13	×
問題4	○	問題9	×		
問題5	×	問題10	○		

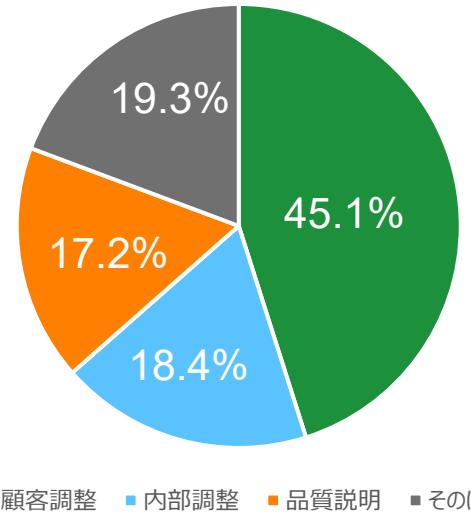
PMの指標

① 計画立案力 具体的な数値の裏付けがある現実的な見積り探しし、リスクヒート・コスト・粗利を考慮しつつ、プロジェクトをゴールに導くための計画を立てられる能力

PM検定「実践スキル・問題対応編」のアウトプットにより、問題解決傾向（状況に応じた対応力、問題解決力、ステークホルダーとの調整力）が可視化されます。

結果レポートサンプル

問題解決時のアプローチのタイプ割合です。貴社PMの問題解決における傾向がわかります。



【結果返却レポート】
受験者個人のスキルを可視化します。

PM検定-実践スキル・問題対応編 結果

氏名: _____
所属: _____

<PM検定-実践スキル・問題対応編について>
本検定は「**テスト案件における基本的なPM能力**」を有しているかを問う**簡易的**な検定です。
結果は、PMの指標(計画立案力、プロジェクト完遂力、問題の察知・解決力、チームマネジメント力)ごとに3段階(A,B,C)で表現しています。
※問違えた問題は裏面の解説を読んで、今後のスキルアップの参考にしてください。

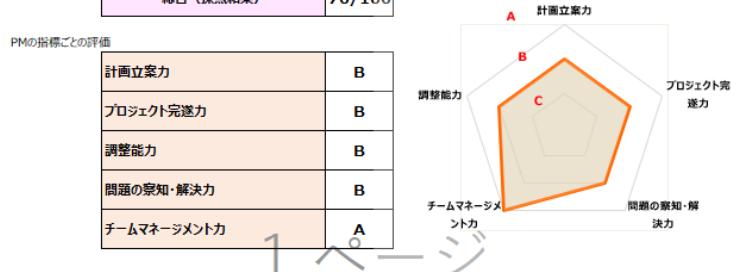
総合(採点結果) 70/100

PMの指標ごとの評価

計画立案力	B
プロジェクト完遂力	B
調整能力	B
問題の察知・解決力	B
チームマネジメント力	A

解答結果(正誤)

問題1		問題2		問題3	
設問1	△	設問1	△	設問1	○
設問2	△	設問2	○	設問2	○
設問3	x	設問3	x	設問3	x
設問4	○	設問4	○	設問4	○



PM検定「素養編」のアウトプットにより、個人別に、コミュニケーションの4つの能力（関係構築力、相手理解力、表現伝達力、情報プロセス力）について、4段階で評価します。

個人向け／結果レポートサンプル

素養確認検定-コミュニケーション- 検定結果

社員番号 : **1**
所属 : **A部**
評価 : **B**

得点 **70/100**

コミュニケーションの指標ごとの評価

分類	指標	評価	評価に対するコメント
素 養	関係構築力	A	素晴らしい！人間関係の構築に必要な安心感を生み出すやりとりを意識できます。 この調子で頑張ってください！
	相手理解力	C	相手の表面化している現状や言葉から相手の本懐を推測する傾向があります。 次ページの学習のポイントを参考に不足している点を確認すると共に、言語情報だけでなく、非言語情報を取り入れ、相手の気持ちや想いを考えられているか注意してみてください！
ス キ ル	表現伝達力	A	素晴らしい！相手の心を動かすための実践スキルを十分持っています。 この調子で頑張ってください！
	情報プロセス力	C	自分の考え方、一般的な正論、やるべき論などを基準とした表現をする傾向があります。 次ページの学習のポイントを参考に不足している点を確認すると共に、相手の本懐を説いてもらえるコミュニケーションができるか注意してみてください！

解答から能力指標を4段階で評価したデータ

解答結果(正誤)							
問題1	○	問題6	△	問題11	△	問題16	○
問題2	○	問題7	○	問題12	△	問題17	○
問題3	○	問題8	○				
問題4	○	問題9	○				
問題5	△	問題10	△				

※△は部分点

解答結果により、不正解／部分点の方への学習のポイント

問題	(不正解、部)
問題1	相手との信頼関係のレベルを昇格める問題です。 普段の生活の中で、相手との関係性を察し、今あなたどの信頼関係のレベル(心の距離感)を築けているか考えてみてください。
問題2	信頼関係の根拠を問う問題です。 自分が見た相手の印象や情報だけでなく、相手の気持ちを読み取れて信頼関係を考えてみてください。
問題3	メンバーとの信頼関係の重要性について問う問題です。 信頼関係は自分のためではなく、相手のためと思って築くものです。自分のことをスムーズに進めるためだけでなく、相手に気持ちよく仕事をしてもらい、心を開いて会話をするために信頼関係を築くことの重要性を考えてみてください。
問題4	会話の目的について問う問題です。 「この会話で達成したいことは何か？」、「この会話から得た結果は何か？」を普段から考えられているか注意してみてください。
問題5	相手に興味を持ってもらうためのポイントについて問う問題です。 内容を伝えるときにただ単に伝えるだけでなく、相手にとって何が興味を持とうと思えるか考えてみてください。
問題6	信頼関係を築くために意識することについて問う問題です。 信頼関係を築く上で安心感(親近感)を相手に傾けてもらうための言語的コミュニケーション(何を言うか)、非言語的コミュニケーション(態度や声のトーン、話すスピード、見た目等)を意識できているか考えてみてください。
問題7	会話に集中できない要因について問う問題です。 集中できない要因として、内的要因(興味が別にある、体調が悪い等)や外的要因(電話がかかってくる、雑音が聞こえる等)のほかに、信頼関係が与える要因(相手のこと好きでない、不機嫌な顔をしている等)を考えてみてください。
問題8	会話に集中できない要因に対する行動について問う問題です。 外的要因には、できるだけ要因を排除(環境・場を整える)できているか、信頼関係が与える要因には、相手の状況や考え方・気持ちを理解できているかなどを考えてみてください。
問題9	相手の反応が薄いときの原因について問う問題です。 自分のコミュニケーションの何が原因で、今後の反応を引き出したのかを言語的コミュニケーション(何を言うか)、非言語的コミュニケーション(態度や声のトーン、話すスピード、見た目等)を理解できているかなどを考えてみてください。

指標に関する説明

PM検定「素養編」のアウトプットにより、個人別に、コミュニケーションの4つの能力（関係構築力、相手理解力、表現伝達力、情報プロセス力）について、4段階で評価します。

個人別の判定結果と指標別評価・得点率を把握できます

主催者向け／結果レポートサンプル

4指標に関する評価
4指標に関する評価

名前	判定結果	得点	関係構築力_評価	相手理解力_評価	表現伝達力_評価	情報プロセス力_評価	関係構築力_得点率	相手理解力_得点率	表現伝達力_得点率	情報プロセス力_得点率	設問1	設問2	設問3
● ● ● ●	A	69	C	B	A	B	54.7	68.8	76.0	70.0	○	×	○
● ● ● ●	A	69	B	B	B	C	71.3	68.8	66.4	50.0	○	×	○
● ● ● ●	B	62	B	B	D	C	63.3	68.8	32.0	50.0	○	×	△
● ● ● ●	A	73	B	B	A	B	71.3	56.8	88.0	70.0	○	×	○
● ● ● ●	A	75	B	B	A	D	71.3	68.8	85.6	20.0	○	○	○
● ● ● ●	C	43	D	C	C	D	34.7	48.8	39.2	20.0	○	×	○
● ● ● ●	A	65	B	B	C	C	68.0	55.2	44.8	40.0	○	○	△

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
○の割合	100.0%	22.2%	77.8%	66.7%	33.3%	77.8%	88.9%	88.9%	100.0%	0.0%
△の割合	0.0%	0.0%	22.2%	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	88.9%
×の割合	0.0%	77.8%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%

設問ごとの正誤結果を把握できます

PM検定－実践スキル・進捗管理編 問題一部

※受験対象者に極秘

計画立案力

テスト実行スケジュールを立てるにあたり、テスト実施と再テストにかかる時間を算出します。

以下の条件に従うと、再テスト実施にかかる時間は何時間になるでしょうか？

空欄【A】に当てはまる数値を解答してください。

※解答欄には半角数字(整数)のみで解答してください。

例) 1時間 → 1 ※半角数字の1のみを解答欄に記入する

テスト設計フェーズに入って4日目が終わりました。

当初計画と現状を比べると、以下の表で示す通り、当初計画から遅れています。

現状をもとに再度スケジュールを引き直すと、テスト設計の終了見込みは何日目になるでしょうか？

稼働日のみを考慮し、半角数字(整数)のみで解答してください。

例) 5日目に終了見込み → 5 ※半角数字5のみを解答欄に記入する

プロジェクト完遂力

あなたはテスト実行フェーズのスケジュールを作成するにあたって、どのようなことに注意すべきでしょうか。

注意すべきことを選択肢からすべて選んでください。

あなたは、前任者(PM)の体調不良により、テスト実行フェーズに入ってからこの案件を引き継ぐことになりました。

現在、テスト実行フェーズに入って1日が経ちました。

テスト実行者にヒアリングしたところ、障害のチケットには重要度を記載する欄があり、弊社が設定することになっていますが、判断基準が個人の判断に任されているようです。

対応すべき内容として適切なものを1つ選択してください。

問題の察知・解決力

あなたは、あるプロジェクトのテスト工程を担当するPMを務めています。

6/12朝の定期会議で、進捗をはじめとした状況の確認を行う予定です。

この会議には顧客とあなたの上長も参加しています。

下の図はテスト実行中の1週間分の予実を抜粋したものです。

6/10終了時点、テスト実行のケース数はおおむね計画どおりと考えていますが、不具合検出数が予定を上回っていました。



チームマネージメント力

テスト実行フェーズに入って全体の3割の日程が経過しました。

進捗は悪く、当初予定から大きく遅延しています。

遅延の原因究明と対策検討のため、メンバー個別にヒアリングを進めましたが、これといった原因が分かりません。

その後も遅延は回復するどころかひどくなっています。

顧客からも遅延の指摘を受けており、遅延回復策を報告しなければなりません。

PM検定－実践スキル・問題対応編 問題一部

※受験対象者に極秘

調整能力

トラブルに対するT社としての対応方針として、最も適切だと思うものを選択してください。

*

- 緊急対応が必要なトラブルと捉え、迅速に収束できるように対応する
- 自社(T社)の責任が強いと考え、粗利の確保より状況の改善を優先して対応する
- 双方(D社とT社)に責任があると考え、予算を交渉した上で、その範囲内で可能な範囲で対応する
- 自社(T社)の知見から品質についての情報を提示し、最終的にD社の判断に従って対応する
- リリース日は変更できないため、重要なテスト観点は見送り、次回以降の案件で対応する

問題の察知・解決力

翌日の状況共有の場までに対応策を考えるために収集する必要がある項目として、優先度が高いと考えるものを4つ選択してください。

*

- 漏っていた重要なテスト観点をテストしなかったことで発生する不具合による影響
- 新機能のリリース日を守れなかったときにZ社に与える影響
- 当システムの各機能と統合テストにおけるテスト観点のマトリクス
- Z社が求める品質基準を満たすために必要な品質メトリクス

プロジェクト完遂力

漏っていた重要なテスト観点への対応方法として最も適切だと考えるものを選択してください。

*

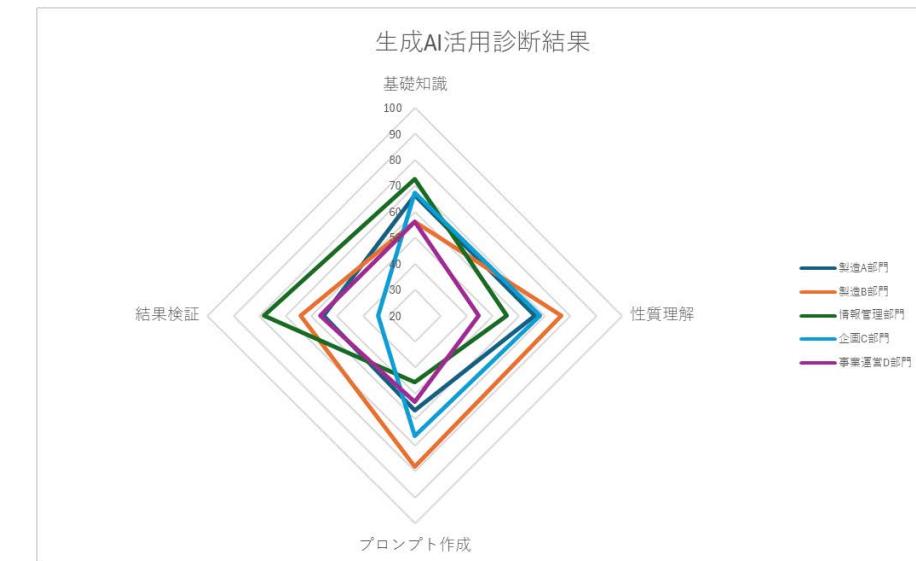
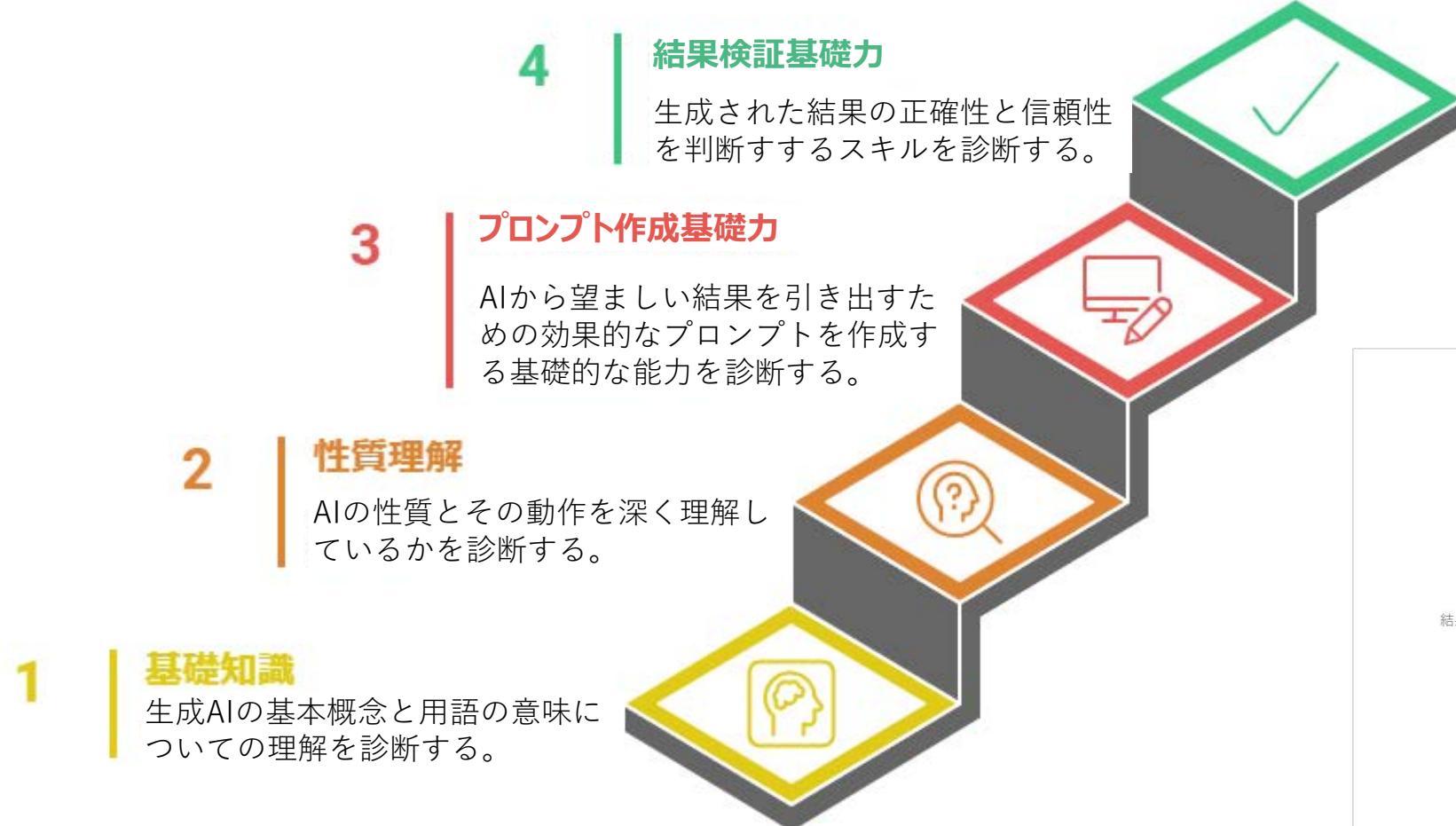
- 対応に必要なスキルを持った要員をアサインする
- PM(あなた)自らが手を動かして一定の作業量をカバーする

漏っていた重要なテスト観点に対する対応を実現するために、テスト設計・実行で実施する必要があると考えるものを選択してください。

*

- 既存のテストケースからまんべんなくテストケースを間引く
- 重要度の低い機能のテストケースを間引く
- 当システムへの影響が低いテスト観点を間引く

生成AI活用診断のご紹介



生成AIの基礎知識

2. 生成AIを利用した製品に関する以下の記述のうち、誤っているものを全て選択してください。*

- 生成AIには、テキスト生成AI、画像生成AI、音声生成AIや動画生成AIなどがあるが、AIへの指示は全てテキストで行う
- 一部の生成AIにはOSSなどの形で公開されており、個人のPCでも構築して動かすことができる
- 生成AIは実世界でのイベントやニュースをリアルタイムで自動的に学習データに追加し、常に最新の情報を元にコンテンツを生成する。
- 国外だけでなく、国内にも、独自の生成AIを開発・使用している企業がある

プロンプト作成力

12. 次の状況に基づいて、生成AIに適切なメールを作成するためのプロンプトを作成してください。

※手元のchatGPT等の生成AIを使って、出力を確認しても構いません。

状況：あなたはチームリーダーで、プロジェクトの進捗状況をチームメンバーに報告します。進捗状況としてメンバー全員分の予定と実績、全体の予定と実績、実績が予定を達成できているか否かを伝えてください。次回の会議のための準備として、進捗状況を明確に伝えることが目的です。

進捗状況:
Aさん: 予定8件 実績10件
Bさん: 予定6件 実績5件
Cさん: 予定6件 実績6件
全体: 予定20件 実績21件 *

回答を入力してください

生成AIの性質理解

11. 以下はあるビジネスユーザーが作成したプロンプトとその結果(AIの応答)です。

マーケティング計画の中身を伴った応答を出力するために追加する内容を選択肢から選んでください

元のプロンプト:マーケティング計画を作つて

AIの応答:マーケティング計画の概要：1. 市場分析2. ターゲット顧客の特定3. 競合分析4. マーケティング目標設定5. マーケティング戦略6. 予算計画7. 実施スケジュール8. 評価方法以上の要素を含むマーケティング計画を作成することをお勧めします。各項目について詳細情報が必要でしたら、お知らせください。*

- Step By Step での出力を指示
- 表形式での出力を指示
- マーケティング対象のペルソナ情報を追加

結果検証力

15. 以下はChatGPTに法律に関する相談をした際に出力されたものです。

出力結果にはChatGPT側が生成した情報が含まれています。

ChatGPTの出力結果の中で、事実であるかの検証が最も必要だと思われる箇所を選択してください。

■ChatGPTの出力

1.所得税：利益が出ているとのことですので、その収入は所得税の対象となります。（A）所得税法では、総所得金額が20万円超えた場合には確定申告が必要とされています（所得税法141条）。

2.会社員としての規定：（B）鈴木さんが会社員として働いている場合、会社の内規や就業規則で副業が禁止されていないか確認する必要があります。

3.ネットオークション、フリマアプリの利用規約：（C）各サイトやアプリの利用規約に違反しないようにすることも重要です。
以上の点を確認し、適切に対応することで、鈴木さんの副業は法律的に問題ないとれます。*

- A

よくあるご質問

よくあるご質問とその回答（1／2）

質問	回答
1. 試験の形式（時間、方法）を教えてください	<p>方法：Web試験 環境：MS Forms (SHIFTが準備) 時間：各検定別に定めた制限時間がある ※MS Formsでは、テストの実績時間は測定できますが、制限時間ででテストを自動終了させる機能がありません。受験者自身がアラーム設定をして、時間計測していただきます。このため、受験者には、試験前に以下3点を伝え受験してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none">・自分でアラームを準備し、制限時間を厳守すること。・MS Formsで試験時間は測定されるため、明らかに時間を超過している場合は試験は無効となること。 <p>公平性を期すために時間を厳守させる場合、試験監督者をたて、時間計測する方法もあります。受験者にWeb会議(ZOOM／Teams)に入ってもらい、一斉受験させて、試験監督者が時間計測することで実現は可能です。</p>
2. 偏差値は社内だけが対象でしょうか？それとも過去のテストを受験した人が対象になりますか？	<p>今回受講者の偏差値、これまでのテスト受けた同一会社の方全体からの偏差値、それぞれ報告可能です。</p> <p>他社を含む全体の平均点については、配布しませんが、口頭で説明します。</p>

よくあるご質問とその回答（2／2）

質問	回答
3. 他社と比較することはできますか？	テスト実施済の会社様平均（カテゴリ別限定公開）との比較は可能です。 (データとしては提供しません)
4. レポートのサンプル提供いただけないでしょうか	こちらの提案書に添付しております。 こちらは、RPAによるレポートになります。日本語の表現を随時ブラッシュアップ中です。
5. 素養とスキルの違いを教えてください	素養検定は、入社後の業務適応力につながる力を確認するための検定で、未経験者でも受検が可能なようになっています。 一方、知識・スキルの検定は、実践するための知識レベルの確認と、それを適切に使える実行力を問う内容となります。
6. 発注から受験まで何日位必要でしょうか？	回答：2営業日 準備期間として1日ほどいただきます。スムーズに受験するにため、準備段階で、弊社準備するWeb受験が環境的に可能か、テスト監督者を置くのか、各自受験させるかなど運用ルールを決めておく必要があります。
7. 受験からレポート（部署別、レイヤー別）作成まで何日位必要でしょうか？	回答：2～7営業日 受験者数に比例して、営業日数がかかります。またレポート作成担当は講師が兼任しておりその時の講師の担当講座の状況によります。 レポート内容を貴社向けにカスタマイズする場合、追加の時間を頂戴することになります。 標準レポートで200名の場合、6営業日後の報告が可能です。

導入事例

【導入事例 1】A社 情報子会社（東証一部上場：陸運子会社）

■ケース 1

お困りごと	リリース後の不具合多数。 →上流工程での品質意識改善の実施し、プロダクト品質向上
解決目的	インスペクション講座を実施、仕様書間整合性をみて、前工程でバグを検知する
教育対象	中堅社員 20名
講座内容	インスペクション講座
効果	上流工程のレビュー指摘 従来比 25%上昇、一方リリース後不具合が50%削減した。 リリース後不具合対応が半減した分、全体対応コスト削減に寄与した。

■ケース 2

お困りごと	要員スキルアンマッチ解消
解決目的	CAT検定により、品質力測定の実施し、QAチーム配属とプロジェクトリーダ抜擢
教育対象	中堅、若手社員 300名
講座内容	CAT検定（テスト実行検定、PM検定）
効果	テスト・品質の特性を見極めができ、品質チームへ適材適所の配属が可能となった。 テスト実行検定結果 4.0以上のメンバー15%を優先的にQAチームへの配属を行った。 PM検定者結果の偏差値60以上の上位者5%からプロジェクトリーダへの抜擢を行った。

【導入事例 2】B社 製版一体（東証一部上場：会計アプリ専業）

■ケース 1

お困りごと	品質に関する知識が低い（体系立てて教育を受けていない） SHIFT参画の品質改善活動で認識された不足スキルを向上させたい。知識だけでなく演習を通じて実感させたい。
解決目的	品質に対する理解品質を高める方法の習得／ソフトウェアテストに関する知識の習得
教育対象	中堅、若手社員（毎年） 8年連続 東京拠点、地方拠点
講座内容	テスト計画とテスト設計（機能テスト）自社フォーマットの計画と設計演習 ソフトウェアテスト入門
効果	・毎年教育を行うことで共通言語が生まれ、全員の品質意識も向上し 上流工程で品質を考えることができ、上流段階での不具合発見率が20%上昇
教育担当者様のお声	毎回熱量が高く分かりやすい講義をして頂き、受講者の満足度が高く感謝しております。 弊社社員の品質に対する考えが、向上していると感じています。

■ケース 2

お困りごと	社員の品質スキルが可視化できない
解決目的	社員毎に効果的な教育を実施したい
教育対象	中堅、若手社員 200名
講座内容	品質基礎スキルテスト
効果	現時点の社員のスキルを可視化できた。
教育担当者様のお声	マネージャ層が現場のやり方に固執していることが発見できた 翌期に向けた教育計画を立てることまでに至った

【導入事例3】C社 大手SI（東証一部上場：電気製品製造）

■ケース1

お困りごと	大規模プロジェクトにおいて、体系的な品質教育が出来ていない
解決目的	そもそも現状のメンバーは、どういった品質スキルレベルなのかを知りたい 品質を高める方法の習得 ソフトウェアテストに関する知識の習得
教育対象	各本部のメンバー全体
講座内容	品質基礎力検定（1回目30名、2回目300名、3回目1300名、研修後再テスト） チケット購入（2500枚）による公開講座全般への受講
効果	<ul style="list-style-type: none">・検定によって個々の弱点とそれを補うための講座が明確になった。・部署ごと、レイヤーごと、といった品質スキルの偏りや弱点が明確になった。・個別に弱点部分に関して対応する講座を受講することで、品質面での適切な教育の実践ができた。
教育担当者様のお声	<ul style="list-style-type: none">・検定の結果をFB頂きましたが、当社が認識している組織的な課題と同様の結果となってます。階層別と職種別の結果差異が社内人事データと合致しているのでテストとしての信頼性を感じました。個人データとしても品質に精通しているメンバーは高く結果がでており、メンバーとしてのモチベーションアップにもつながります。

【導入事例4】D社 大手SI（東証一部上場：商社系情報子会社）

■ケース1

お困りごと	PM力、特に対人について折衝毎でお客様の言いなりになるケースが増えている
解決目的	横串組織のミッションとして事業部全体のPM力を可視化し向上したい MBOの一つに教育時間という項目もあり、実践に役立つ教育を実施したい 部下全員の達成率で評価がきまる
教育対象	各本部のメンバー全体
講座内容	品質基礎力検定（1回目30名、2回目389名） PM検定-知識診断、PM検定-実践スキル【初級】、PM検定-実践スキル【初級】(30名) チケット購入（100枚）による公開講座全般への受講
効果	・社員の実力が可視化できた 今後、研修へつなげていく
教育担当者様のお声	・品質基礎力検定は、一般を問う問題なので、逆に非常に難しいと感じた ・PM検定-知識診断は、知識レベルなので1問の重みが非常に高い 1回目PM上級職が受験した結果、設問自体は簡単なので5問間違えるとまずいレベル 一方、PLや初級PMには、丁度よい教材にはなりえる

その常識、変えてみせる。

SHIFT